

春嵐探し

盛岡第三高校3年 岩崎野乃花

ぽっかかりぽっかかり
イヤホンから伝うバラード

からっぽの脳の中の反響

数千年続く愛を唄う歌

純粹で

きれいで

わたしには、ひどく

くるしいうた

音が、大きい

雑音が混じって、

ぷっん

あのころの私はまだまだ子供でした

だから「好き」の反対は

「嫌い」だと思っただけでした

友愛的な「好き」は軽くて

恋愛愛的な「好き」は重たい

中身の見えないうちを重たい

好奇心が私を形作って見ました

すうすう

イヤホンから溢れるポップス

中途半端な脳の中の線香花火
見つめられたくなくて
でも覚えていてほしいと叫ぶ歌
なんだか似ていて
手が止まって
わたしへ、ゆっくり
しみこんでくるうた

音が、まだ大きい
泣き声がねじ込まれて
ぷつり

「好き」の反対は「無関心」と知った私は
きつと、「好き」の違いも
掴みかけていました
友愛的な「好き」はおれんじいろ
恋愛的な「好き」はぴんくいろ
今はもういいかな、なんて
好奇心は一度私に殺されていました

だらりだらり
イヤホンから突き抜けるラブソング
残量10%の脳の中の共鳴
好きなのに人に見る景色を
独占したいなんて傲慢な歌
わからなくくて
わかりたくなくて
わたしは、ずっと
しつていたきがするうた

音を、早く小さく
笑い声が練り込まれて
ぷつつ

最近の私は、もうすぐ完成を迎えるみたいで
す

「無関心」を経験して
一番の友愛を見つけていました

友愛的な「好き」は発見済み

恋愛的な「好き」は未発見

そろそろ好奇心が生き返るころです

私に時間があればの話ですが

しいんしいん
イヤホンから弾けたロックミュージック

充電不足の脳が訴える限界

稚拙ながらも生きる理由を

音楽に見いだす希望の歌

もしもこんなふう

いきられたらまだ

わたしには、まだ

のとどかないうた

音は、正常に

怒声が溶け込んで

ぶつり

今の私は十八という数字を恐れています

「大人」「好き」「勉強」

どれもこれも嫌いでも嫌いで下半身が動きません

友愛的な「好き」は満たして
恋愛的な「好き」は満たして
わがままな十七歳児が
春の嵐を探して泣いている